

# 元



あなたと議会をむすぶ

第 3 号

# 議会だより



新春の空に「エイ・ヤー」と  
ひびき渡る 勇ましい  
かけ声で 火の用心

(歌登消防第1分団 登梯式)

第3回 議会定例会／行政報告 2P～

一般質問 4P～

各種会計補正予算／Q & A 10P～

常任委員会／編集後記 11P～

第3回

議

会

定

例

会

会

期

12月13日～15日の3日間

# 議員定数と報酬を検討する特別委員会を設置

平成18年度の第3回定例会が12月13日から15日までの3日間の日程で開催されました。天野議長による議会事務報告、荒屋町長による行政報告、茂木教育長による教育行政報告が行われ、一般質問では7名の議員が、町長、教育長に質問を行いました。

請願1件と意見書案2件を採択、町提出の単行議案3件、予算に関する議案7件、決算認定29件、町道の路線廃止1件、路線認定1件が審議され、いずれも原案のとおり可決・認定された他、報告事項1件についても了承。

また、以前から議員協議会等で検討されてきた議員定数と議員報酬を検討する特別委員会が動議で提出され、特別委員会の設置を可決。名称を「枝幸町議会行財政改革検討特別委員会」とし、委員長・副委員長の選任や構成などを決定。14日、会期を1日残して閉会しました。

## 行政報告

### ●「津波警報における対応」

11月15日午後8時15分頃千島列島付近を震源とした地震が発生、その影響によりオホーツク海沿岸などに午後8時29分に津波警報が発令され、当町は午後8時30分に災害対策本部を設置すると同時に町内海岸付近住民に「避難勧告」を発令

しました。町職員と消防職員を招集し連携をとり、住民に対してサイレンの吹鳴や広報車・消防車両による避難の呼びかけ、各避難所の開設などの対応にあたりました。津波警報と避難勧告、当町では初めての出来事で、町民に大きな動揺と不安を与えましたが、迅速な行動と関係機関の協力のおかげで、僅かな潮位の変動が確認されただけで被害もなかつたことに安堵したところです。

津波警報に対する初動体

### ●漁業の状況

11月現在、沿岸、底引き合わせて85億1千700万円(税抜)で、計画対比126%、前年同期対比では15億9千600万円増となりました。12年の水揚げを上廻

制、津波災害における避難所の開設など、今後の課題も明らかになり、今後の迅速な対応が必要とされることからモジュールを作成するなど、町民に周知する考えています。

る史上最高の実績になり、地域経済が停滞気味である当町にとっては明るい話題であり喜ばしいことです。内容を見ますと、沿岸主要3魚種の「毛がに」は漁獲割り当てが昨年を僅かに上乗せとなり、漁獲量、金額とともに昨年を上回る好結果となり、「秋さけ」は好調な出足で10月の盛漁期に低気圧被害による大きな被害を受けたものの、数量では過去最高、金額でも平成4年の単価高の時代に次ぐ水揚げ、更に「ホタテ」においては、数量で2万5

千716トンと計画量を僅かに下回ったものの、昨年比比べると5千452トンの増産となり、前年同期対比9千770万円ほど増収となりました。

また、「ます」、「カレイ」がやや不振、「タコ」、「昆布」、「なまこ」が好調に推移したところであり、全体的に見ますと、漁種により好漁不漁とばらつきはあるものの、「秋さけ」が大幅に増産となり、史上最高の水揚げとなったことは町の経済全体に及ぼす影響を考えると明るい要素であり、この状況が今後も継続するよう期待しています。

沖合い底引き網漁は価格が依然として低迷で、平成14年をピークに年々減産傾向にあります。また、「オオナゴ」、「カレイ」を中心に漁獲量を伸ばしており、一昨年、昨年と比べて僅かではありますが、増収となったことは明るい材料であり、来期に向けて期待していま

### ●訃報

11月に残念なことに操業中事故により、一名の方がお亡くなりになりました。このような痛ましい事故が二度と起きないよう、また海難事故のないよう願っています。

札幌市在住の元枝幸町議会議員の三岡厚二氏が11月10日逝去され、12月8日の閣議において特別叙勲の旭日単光章を受賞されました。三岡氏は、昭和50年から平成3年までの4期16年にわたり議員を務められ、総務常任委員長、監査委員等も歴任いたしました。ご冥福をお祈り申し上げます。



# 教育行政報告

## ● 枝幸地区小学校 マラソン大会

晴天に恵まれた9月8日、北幸園グラウンドにおいて枝幸地区小学校マラソン大会が開催されました。

保護者をはじめ、家族が声高らかに応援している中、児童の一生懸命に走る姿には意気込みが感じられました。

今後も、児童の体力づくり、学習環境の整備に努めます。

## ● いじめ、不登校等の取り組みについて

報道等で、いじめや不登校、自殺などについて大きく取り上げられています。

このことは、以前から深く存在し、教育関係者や保護者も心を痛めているのが実情であり北海道知事、北海道教育長からも緊急メッセージが出され、町内各学校でも緊急生徒会・児童会を開催、いじめや生きることの大切さの指導のほか、

道徳の授業でも取り組んでいます。

教育委員会・学校・保護者・関係機関が連携し、一人一人が安心とゆとりを持って教育を受けられるよう注意深く取り組んで行く考えです。

## ● 明るく・すこやかに枝幸の子どもを育てるPTA・町民の集い

家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成を推進する事業としてPTA連合会と青少年育成ネットワークが共催した平成18年度の「明るく・すこやかに枝幸の子どもを育てるPTA・町民の集い」が10月15日に中央コミュニティセンターにおいて開催され、枝幸町出身者で長野県野沢温泉村在住の「古川年正」氏を講師とし、「スポーツと私」と題した講演が行なわれました。

古川氏は1974年の冬季オリンピック札幌大会に出場し、全日本スキー連盟常任理事などの要職にあり現在も活躍されています。少年時代を過ごした枝幸でのスキーの思いや、指導者

仲間との出会い、思い出などについて語り、大勢の町民が講演を聞き入りました。当町のスポーツ振興を図る上でも大変参考になった講演でした。

## ● 町民文化祭の開催

11月3日から19日までの間、枝幸・歌登両地区の会場で町民文化祭が開催されました。

展示・体験・舞台発表・芸能発表などを多くの方が来場し、感銘を受けていました。

運営並びに参加された皆様には感謝申し上げます。

## ● 読書感想文コンクールの実施

読書感想文コンクールは

地域の読書普及の推進と児童の読書の習慣化と機会の提供を図ることを目的として実施され、町内小学校11校526名、中学校4校226名、高校1校118名の応募がありました。本年度は合併の効果もあって多くの応募があり、優秀な作品が多く審査も大変



新町の民有林は30,120ha、大切に育てよう町の財産

苦心しましたが、最優秀賞・優秀賞等の各賞が11月5日に決定しました。発表は広報誌等で掲載する予定です。

## ● スポーツ少年団フリースタイル開催

11月23日、スポーツ少年団フリースタイルが総合体育館において開催され、13少年団の団員とリーダーズクラブ、指導者・育成者等約240名が参加し、ミニ運動会やゲーム等に汗を流し、楽しい一日を過ごしました。

また、開会に先立ち少年団の表彰式も行なわれ、各種の大会や活動を通じて優秀な成績を収めた個人と団体が表彰されました。

## ● 請願書・意見書

第3回議会定例会に提出された意見書・請願書は次のとおりです。

審議の結果、原案通り採択し、関係行政庁へ送付しました。

請願第4号（意見案第9号）

日豪FTA（自由貿易協定）交渉に関する請願

## 意見案第7号

森林・林業政策の充実と新たな財源措置を求める意見書

## 意見案第8号

リハビリテーションの改善を求める意見書

## 主な議案

### 議決案件

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更  
北海道後期高齢者医療広域連合規約  
町道の路線廃止  
町道の路線認定

### 工事請負契約

工事請負契約の変更について  
（歌登処理区下水終末処理場機器更新工事）

# いっぱん しつもん



第3回議会定例会において7名の議員が登壇15項目にわたり、活発な質問が展開されました。各議員の質問の要旨と理事者答弁の内容は次のとおりです。

## 「物品関係競争入札」に関する 最低制限価格の設定

成澤 寛 議員

建設、土木関係の入札には最低制限価格が一般的に設定され、物品関係競争入札には設定されていない事から、極端に低い金額で落札される事例が生じる事があります。

「管理業務委託」の最低制限価格との整合性について見解を伺います。

### 町長答弁

原則として、町が発注する予定価格500万円を超える工事を「最低制限価格」の設定対象としており、物品等の競争入札に関しては「最低制限価格」の設定はしていません。これまで入札に付した物

## 新年度の予算編成

森 永 茂 議員

国で示した11月の月例経済報告は「景気拡大期」と報告されているものの、全

国的には「地域格差」があり、景気は依然として厳しい状況にあります。

品等については、著しく低い価格で落札され支障があったとの報告もなく、正當に納入、または業務遂行されたものと考えていますが、今後極端な低価格での落札が行なわれ、契約内容の適正な履行が確保されないような事態が予想されるときには、何らかの対処も考えたいと思いますが、現状では「最低制限価格」設定の考えはありません。また、「管理業務委託」の最低制限価格との整合性については「設計書」のチェック等、今後とも契約内容の適正な履行を確保するための監督・指導を十分行なう考えていきます。



子どもたちの実りある交流を未来へつなごう

### 町長答弁

当町も自主財源である税収もあまり期待できず、一般財源は依存財源である地方交付税の減額により厳しい状況にあります。

このような中で如何にして健全な財政を維持するのが見解を伺います。

また、経常経費、義務的経費の増加等で今後も更に厳しくなる状況も予想されますが、新年度の予算編成にあたり基本的な所見も伺います。

枝幸町の財政状況は、18年度末の町債借入残高が、一般会計・各特別会計・企業会計併せて280億円に迫る見込みであり、一方歳入の約50%を占める地方交付税は、国の財政改革路線の堅持により、ますます削減されることが予想され、今後これまで以上に厳しい財政運営を強いられるもの



猛威をふるう10月の低気圧

枝幸町の産業形態・人口規模・財政力等を勘案した中での枝幸町の財政規模について、地方自治法によ

と推測されます。19年度の予算編成方針については既に各課担当部局・職員に通知し、説明会も開催したところですが、経常経費については予算請求限度額に一定の削減率を設けるとともに、建設事業についても事業の必要性・緊急性を厳しく精査し、重点

行財政改革にむけて（財政規模・指定管理者制度及び職員定数）

中島幸雄 議員

化・効率化を図る考えであります。今後、多様化する町民の期待に答えるため、持続可能な財政運営を目指して、事務事業の見直しによる経費の削減や組織機構の見直しなど行財政改革に取り組みんでいきます。

って公共施設の管理運営に民間のアイデアによるサービス向上とコスト削減を期待し導入された指定管理者制度は、当町では昨年度3件がこの制度で運営されておりですが、他のものとしてはどう言っても現在検討の対象に上っているのかお伺いしたい。また職員定数管理については、当町としても種々の事情を勘案しながら適切な人員とはどの程度を指すのか、どのような計画をもたれているのかお聞きします。

町長答弁

補正後の財政規模は120億円で、近隣町村の一般会計は30億〜40億円半ばであることを比較しても、身の丈を超えた財政規模であるとの認識を持っているところです。基金より多額の繰り入れをしている今年度のような大型の財政規模を維持することは不可能でありますので、今後あらゆる事務事業の見直し、財政規模の圧縮など健全財政の確立に向けて努力をしています。

スウェーデン王国 ソレフテオ市との交流再開

ソレフテオ市との交流は合併協議開始時点で中断しているが、次代を担う人材の育成と、生徒には夢と希望を与え大きな成果を上げてきた。両国、両地域の厳しい財政状況もあるが、お互い無理をせず長い交流の絆が続くことを願うが、今後の見通しについてお聞きします。

町長答弁

交流が全く途絶えたというわけではありません。16年12月合併議決を受けソレフテオ市のエリクソン議長に親書を送り、18年3月20日に新枝幸町が誕生すること、姉妹都市友好交流は新町としても継続することが決定されたこと、今後については新町の体制が整い次第会談を持ち協議したい旨をお伝えしました。双方の財政事情、事業計画等を踏まえ、ソレフテオ市側の意向を十分確認のうえ調整していきたいと思っています。

10月の低気圧被害対策

10月7日から9日にかけての低気圧による被害は、秋鮭定置網の被害がもっとも大きく6億3千万円に及んだと聞いております。道では融資制度に対し金利の補助を行なうとの報道がありました。当町においても

町長答弁

支援策について種々検討中とは存じますが、その検討内容、実施予定についての考えをお聞きします。

男女平等共同参画 社会と女性問題への取り組み

と云われて久しいが、この事について教育行政の中でどのように捉え推進しているのか、考え方をお聞かせ頂きたい。

さらに、毎年町内女性を対象として「女性の集い」が開催されておりましたが、現在はどうなっているのかお聞きします。

### 教育長答弁

平成18年度の社会教育推進計画において、生涯における学習機会の拡充と、学習内容の充実を目標として、「成人教育」の領域で捉えており、事業の展開においては社会的、文化的に形成された性別意識に縛られることなく運営に当るよう心がけ、関係部署と連携して推進しているところです。

次に、女性問題への取り組みについてありますが、旧両町において女性団体連絡協議会が「女性の集い」を開催していましたが、旧枝幸町では16年度より、旧歌登町は17年度をもって休会又は解散し、現在は開催されておられません。

このような中、男女共同参画社会の形成においては、女性の社会的地位の向上と行動力（エンパワーメント）を付け、町づくりへの参画など期待されることから、今後とも社会参加のための女性教育、学習活動の充実を課題と位置づけ、個々の学習機会への対応はじめ、各種団体への活動支援を図り時期を見極めた中でのネットワークづくりを進めていきます。

### 外国語指導助手の任用のあり方

現在の英語指導助手は民間派遣業者との一年契約での更新による継続任用と聞いております。

以前のJET事業から変更した経緯と理由はどこにあったのか、なぜ民間委託しなければならなかったのか、その訳をお聞きます。

なぜならば、このJET事業は国の施策として導入され、今年で20年を迎えています。

この事業を導入した自治体では、その経費に要する負担額を交付税算入する事として、毎年受入自治体に590万円が算入される仕組みとなっております。

この事を踏まえ今後も今の方法を継続されるつもりなのか、またJETへの再検を行なう考えがあるのかをお聞きます。

### 教育長答弁

旧枝幸町においては、国のJET事業により英語指導助手の任用を13年度から始め、16年度まで8名を受け入れましたが問題点として、日本語能力の不足が深刻で、平均の任期が1年半余りという短期間の中で、英語教育を進展させていく成果をあげられないという本意な実態がありました。

この反省をふまえ、17年度からは即戦力となる人材を供給している民間ALTTとの業務委託契約による配置に切り換えました。

国のプログラムは、あくまでも外国人青年招致事業であり、英語あるいは国際理解教育の指導者として、確かな人材が供給され

るとは限りません。ALTTは、経験者が採用されていて、採用前に選抜と研修を受けているので確実な人材が期待できます。

確かに、財政的にはALTTの場合、交付税算入があるJET事業に比べ不利はありますが、英語教育や国際理解教育を実りあるものとするためには、何よりも事業の効果が優先されるべきとの判断に立ったところ

です。

その他の要因として、JET事業による直接雇用では、私生活の支援、事故、病気、犯罪といった不測のリスク対応まで教育委員会の責任となりますが、ALTTの場合、業務委託契約のため、人事管理面でのコストが一切かからないという大きなメリットがあり、引き続きALTTを活用していきたいと考えています。

### いじめ問題と学校開放

いじめ問題と、学校・学級開放について、先の委員会において教育長より枝幸町のいじめ等、児童生徒の

実態についての報告を受けました。

そこで、次の事を今後の学校運営上の参考として研究いただけないものか、お聞きします。

学校教育はともすると、閉鎖社会と思われがちです。その事からして、もっと地域に開放されるべきだと思います。

その取り組みの一例として、授業参観日を父母、保護者ばかりでなく一般町民おじいちゃん、おばあちゃんにも解放する取り組みを進めてもらえたらと思います。

児童生徒の姿、学校の様子を見てもらい、地域社会の大人の役割を自覚し、地域の持つ教育力を活用してもらいたいと思いますが、考え方をお聞きます。

### 教育長答弁

現在、中央教育審議会の答申に基づき進められている義務教育の構造改革の一つとして、「学校の組織運営の改革」が挙げられており、保護者・地域住民の学

校運営への参画と協力を得て、「信頼される開かれた学校づくり」を進めているところです。

そのために、各学校が教育活動その他の学校運営について、具体的な目標を設定し、その達成状況について、自己評価及び第三者による外部評価の実施と、その結果の説明と公表を行なう体制づくりの取り組みをしています。

また、いじめ対策は、学校・家庭・地域の連携なくしては、なかなか効果をあげ得ない性質の問題ですので、そういった観点からも、授業参観を活用することは、非常に有益と考えますので、学校側と具体的協議を進めていきます。



# 農業をとりまく諸問題と今後の見通し

野口良子 議員

食料基地である北海道の農業が現在、大変な状況に立たされています。

町財政の一翼を担う農業は大きな存在として守り、発展させなければならぬものと考えます。国の目指す農業の大型化は、離農者を増やし、過疎化を進め、里山を荒廃させているのが現実だと思えます。

輸入自由化による生乳価格の暴落、年明けにも本格的な交渉を始める見通しのオーストラリアとの経済連携協定など、道の試算では肉牛・乳牛共驚く様な数字が示されています。

今後、農業者にどのような影響を与え、進んでいくのか、現状を含め伺います。

## 町長答弁

本町の農業の現状は、農家戸数177戸、就業人口545人、経営耕地面積1,071ha、生産高約60

億円、酪農を中核として安定的な農業が営まれていきます。町としては、効率的でゆとりある酪農経営の確立を図るため、集乳農道や草地の整備、町営牧場の再編など各種事業を展開しながら、生産性の高い農業を指していききたいと考えています。

オーストラリアとの自由貿易協定ですが、新聞紙上でしか判断できませんが、主要農畜産物である牛肉、乳製品、小麦、砂糖の4品目がこの協定で関税撤廃を強いられる可能性が強く、関税撤廃になった場合、北海道経済に与える損失は、1兆4千億円、生産農家の5割にあたる2万1千戸が離農を余儀なくされるとい

う道の試算が発表されており、全国的には3兆円の損失と言われています。各都道府県、JA、農業団体の反対要請にも係わらず、政府は5日、主要品目

の関税撤廃の「例外化」が明確でないまま国内農業・地域経済崩壊の危険性を抱えたまま交渉に入る方針を決めました。

現段階としては、松岡農水相の「重要品目」は全部守るといふ言葉を信じて交渉の行方を見守るしかありませんが、本町農業の主要生産物である肉牛、生乳が対象となっており、今後、JAなど関係機関と連携を図り食と農、地域経済を守る運動に全力をあげていきたいと考えています。

## リハビリ医療の打ち切りとその対策

今年4月からの診療報酬の改定により、医療保険のきくりハビリに日数制限が導入され、全国で20万人以上の患者がリハビリを打ち切られようとしています。

改定内容が公開されたのが3月、実施は4月からで、病院が対応を検討する時間もほとんどなく、日数制限の除外規定のあることも知らない医療機関さえ多くあると報告されています。当

町でもリハビリを受けられなくなり、困っている人がいるのが実態。今回の法改定の狙いは、医療保険から介護保険への流れを変えるものと考えられます。介護施設の充実していない地域では、大きな問題をかかえこむこととなりましたが、町立病院としての力を充分発揮し、町民の安心を保障してほしいものです。病院内に通所リハビリの設置、訪問リハビリの開始、算定日数上限の除外規定の活用について伺います。

## 町長答弁

今回の改定により、これまでの医師不足の問題に加え、療養病床における診療報酬の大幅な引き下げ、看護基準の変更による看護師不足、24年度までの療養病床の再編など、病院を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。

改定により、「効果が明白でないリハビリを続けるのを防ぐ」として日数制限が設けられたところであり、当町においても4月1日を

起算日として、11月末までに終了した方が27名あり、その中には、完治により終了した方も約4割含まれています。日数制限後も、改善が見込まれるとの医師の判断により、14名の方が継続してリハビリを受けており、終了後も悪化や歩行等に不安を訴えられる方には、一定の期間を空けた後、医師の判断により新たに受けられるようになっており、現在3名の方がリハビリを再開しています。

の訪問看護師が在宅療養者の日常的リハビリ指導を行なうもので、現在、北海道総合在宅ケア事業団との間で、訪問リハビリ開始の協議が整いつつあります。今後とも、日数制限で除外される患者も数多くいる事や、リハビリ再開の基準等についても患者や家族の方に十分説明し、安心してリハビリが受けられるよう努めていきます。

通所リハビリの設置

日数制限については、

町民の方々に不安を与えないよう、早くから病院と検討を重ねてきています。

具体的には、理学療法士との連携のもとで、訪問看護ステーション



リハビリ医療・理学療法士による指導も行われています

### 国保病院の運営

佐々木 定雄 議員

合併協議の中で、二つの国保病院を新町に引き継ぐということであり、合併後二つの病院のより効果的な運営方を模索すべき議論がなされなければならなかったはずですが、9月定例会後どのような議論がなされたか伺います。

(1) 病院対策協議会、歌登地区地域協議会でどんな議論をしたのか、その内容はどのようなか。

(2) 歌登病院の診療形態は週何日診療なのか。

(3) 二つの病院では、スタッフ、医療機器などを含め、枝幸病院が充実していると思うが、患者もより充実した方を選択するであろう。そこで通院手段（通院専用バス）を病院対策の一つに据えなければならぬと思うが如何か。

### 町長答弁

病院対策協議会では、

今後の病院のあり方について議論しました。1回目の協議会では、新町における国保病院のあり方に関する基礎的検討報告書の内容の報告。2回目では、

医療制度改革における療養病床の再編 についての報告が主でした。厚生労働省が本年度末までに「地域整備指針」をまとめる方針なので、今後協議し、指針等で示される内容と整合性を保ちながら慎重に議論していきます。

歌登病院の診療形態は、11月から医師が2名体制となり、月曜日から金曜日までの診療を行なっています。通院専用バスについては、今後、両病院の一定の方向性が示された段階で、枝幸町地域交通システム検討協議会で検討してもらいます。

### 人工透析治療

人工透析問題については、議会で取り上げられて4年たちます。透析室の拡張、患者の受け入れなど、議論はしたけれども解決したものは一つありません。

枝幸町の患者数は20名を超えており、約半数が他の病院で治療しています。病院との協議はその後どのような状況になっているか伺います。

(1) 病院との話し合いの状況はどうなっているか。  
(2) 患者がいるのに、何故半数に近い患者しか治療が出来ないのか。  
(3) 人工透析1回で、病院収入はいくらになるのか。

### 町長答弁

病院長との協議では、地元での治療を希望する患者様は受け入れたいが、医師の目が十分届き、安全を第一に考えなければなりません。非常に厳しい状況ですが、専門医の確保が第一と考えています。

患者数については、治療技術が日々進歩しており、透析を開始した8年当時とは単純に比較できません。

患者様の状態により違いはありますが、月平均で13回治療するとおおよそ35万円程度となります。稼働するベッド数7床に対して、スタッフは6〜7名で細心の注意を払いながら対応しています。

### 役所、学校等の勤務実態

秋川 祥雄 議員

社会問題となっている「いじめ」等による不登校、自殺と流行病いのようであると

職場での様々な要素から精神的障害が生じて仕事の

出来ない人が随分多くいると云われています。

合併による職場の環境の変化等、又学校ではいじめ問題等で仕事のできない人がいないのか、その事実を



地域医療の充実は住民の願いです（歌登病院）

お聞かせ願いたい。実態があったとすれば、その対応原因がなにか今後の処置等

### 町長答弁

ついているものと理解していただきます。一部職員間の意志の疎通が不十分であったり、職場風土に馴染めないなど、多少の個人差もあるうかと思

職員については、特に歌登地区から本庁に勤務する職員にとって、新しい職場の環境に適應するまで、戸惑いや違和感があったと思います。現時点まで大きな軋轢(あつれき)もなく、職員同士協力して業務に当た

職員には、いったん合併した以上、旧町の慣行にとられず、お互いの良いところは取り入れ、悪いところは正していく姿勢で職務に当たってもらいたい。合併以降体調を崩すなどの職員の勤務実態については、本年4月1日から



両区の歴史は各々記録され、合併後の歩みは1冊になります。

合併協議会において、旧両町の合併までの歴史を旧町毎に取りまとめ、合併後に刊行する旨決定されており、旧枝幸町では、21年度の刊行を目指して16年度から取り組みを始め、現在も

### 町長答弁

両町の合併までの歴史を旧町毎に取りまとめ、合併後に刊行する旨決定されており、旧枝幸町では、21年度の刊行を目指して16年度から取り組みを始め、現在も

この作業中です。歌登町史は、8年度に第2巻を刊行していることから、その合併後までの期間や資料集収・保存の状況を考慮しますと、作業体制を整えることにより、比較的

### 町長答弁

この作業中です。歌登町史は、8年度に第2巻を刊行していることから、その合併後までの期間や資料集収・保存の状況を考慮しますと、作業体制を整えることにより、比較的

短期間での取りまとめが容易かと判断しています。合併という特殊事情も考慮した場合、書籍として刊行する時期は同じくらいが望ましいため、新年度から着手したいと考えています。

### 町長答弁

短期間での取りまとめが容易かと判断しています。合併という特殊事情も考慮した場合、書籍として刊行する時期は同じくらいが望ましいため、新年度から着手したいと考えています。

現在、宗谷管内では森林管理巡視員を設置しているところはありませんが、全道で13の市町村が森林管理巡視員制度を活用し、森林の災害防止に努めていると聞いています。

### 町長答弁

現在、宗谷管内では森林管理巡視員を設置しているところはありませんが、全道で13の市町村が森林管理巡視員制度を活用し、森林の災害防止に努めていると聞いています。

今日現在までの職員の病気休暇等を取得した職員数は延べ18名おります。病気休暇については、これも内科的・外科的な私傷病がほとんどであり、18名の平均取得日数は28日となっております。

現在、病気休暇中の職員は3名おりますが、うち1名が精神的疾患として診断書の提出を受けており、その原因について確たる事を把握しているわけではありません。職场上または職場環境の中で、何らかの因果関係があるとすれば見過ごすことはできませんので、今後本人との面談も含め、メンタルヘルスのケアを行なっていきたいと考えています。北海道教育委員会でも「心の病」と思われる教員の増加を懸念しております。現代社会の構図が背景にあるとも言われています。

中央教育審議会の機関で「教職員の悩み調査」を実施しております。その中で特に「子どもとの世代間ギャップや、心の中が見えにくい、自分の気持ちが伝わりにくい、子どもの価値観の多様化」などが小学校で58・9%、中学校で50・0%と報告されています。幸い当町教職員には該当するものはいませんが、メンタルな部分でもあり、人権やプライバシーにも配慮し、充分な対応をしていきたいと考えています。

町史については、旧枝幸町においては昭和46年に「枝幸町史下巻」を発刊、30年余りが経過し、平成15年に町史編さん委員会を設置し、16年度から業者委託により編さん業務に着手、21年の発刊を予定しているとの事です。旧歌登町では平成8年に「歌登町史第2巻」を発刊しています。

16年8月2日の「第6回枝幸歌登合併協議会」の事務事業の取扱いでは、続編は合併後に編さんの予定となっており、現在どのようになら取組まれているか進行状況を聞かせて頂きたい。

林野庁は国土保全や水資源の涵養などの機能を果たす民有林の適正な管理に向け、全国の市町村に「森林管理巡視員」の設置を推進する方針を決めています。その役割は、山崩れ、地滑りなど山地災害を未然防止のための巡回、林道、治山施設の損傷の点検、荒れた林地の早期発見、森林火災の防止のための巡視、健全な森林育成に向けた間伐の遅れている過密林分の調査活動、これらの対策の支援措置として「森林保全推進員制度」「山地災害ヘルパー制度」を加えて普通交付税のその他

## 地方財政措置の活用による森林管理巡視制度の推進について

村上守義 議員

の産業経済費の単位費用に「森林巡視等資金」への手当、また、「国土保全対策ソフト事業」にも普通交付税措置が講じられている。このソフト事業の趣旨の徹底及び同事業の一環として各市町村では「森林管理巡視員」の設置により巡視強化が推進・活用されるよう働きかけがあると聞いています。

新町の民有林面積は両地区合わせて30、120haあり、3年前の台風18号、本年の低気圧接近による風倒被害を考えた時、新町の面積に応じて巡視員を設置すべきだと考えますが、考えを伺います。

合併して当町の山林の面積も増えており、少し時間をいただきまして、森林サポーターなどのボランティアの人たちや森林関係団体と協議しながら、巡視員制度について検討したいと考えています。

### 町長答弁

山地災害の防止、森林の適正管理など、国土保全対策ソフト事業の一環として「森林監視巡視員」に対する交付税措置がなされていることは、承知しているところです。

# 各種会計 補正予算

今回の補正予算は、一般会計6千2万4千円増額、国民健康保険事業特別会計9千49万7千円増額、介護保険事業特別会計968万1千円増額、下水道事業特別会計3千279万3千円減額、簡易水道事業特別会計1千639万円減額、水道事業会計、国民健康保険病院事業会計の補正を計上しましたが、歳出の主なものとは次のとおりです。

【一般会計】

- 街灯管理経費 125万円
- 財政調整基金積立金 948万1千円
- 知事・道議会議員選挙執行経費 418万7千円
- 地方バス路線維持事業 123万円
- 容器包装リサイクル推進事業 212万2千円
- 漁船上架施設補修事業 226万円
- 除雪対策経費 277万7千円
- 町内小中学校耐震化優先度調査事業 525万円

給食センター管理経費 392万円

【国民健康保険事業特別会計】

- 一般被保険者療養給付費 4500万円
- 退職被保険者等療養給付費 3800万円
- 退職被保険者等高額療養費経費 300万円
- 【介護保険事業特別会計】
- 高額介護給付経費 160万円
- 介護給付費準備基金積立金 968万1千円

**Q & A**

今回の補正予算での質疑内容を質問はQ、答弁はAに要約してお知らせします

**Q** ゴルフ冬期練習場の使用料はいくらか、今後の進め方をどうするか伺います。

**A** 枝幸地区の多目的グラウンドは1回500円で、

球や設備そのものについては町の備品、歌登地区の屋内グラウンドは1回100円、体育協会に加盟している団体は割引で歌登ゴルフ協会のボールとマットを使用している。今後、両施設の利用方法について協議し、方向性を出していきたい。

**Q** 下幌別地区の旧ごみ捨て場の進捗状況は？

**A** 侵食された250mについては、奥行き10mで撤去は一通り終わりました。追加工事で残存分を出来るだけ撤去したい。10月から残土が出る予定だったが、1月でなければ掘削残土が出ない。それが出たから投入という事になります。

**Q** 下幌別地区の旧ごみ捨て場の進捗状況は？

**A** 各方面からの経営の見直しをしていかなければならない。二つの病院のあり方について住民の意見を聞きながら対処していきたい。

**Q** 給与費の減額分について

**A** 合併に伴い精査したものです。特別職は5月中旬からの支給であるのと、7月からの特別職の減額分。一般職員給料は、退職職員がいたための人的移動により新しい組織での減額分。

**Q** 残土の投入予定が1月中旬となっているが、流水・雪等が入るし、トンネル残土が出る時期が遅い。工期は大丈夫か？

**A** 建設・土木の課長と土現との話の中で進めている。年度内に工期が終わ

**Q** 建設・土木の課長と土現との話の中で進めている。年度内に工期が終わ



新しく建設された木造外断熱工法の公営住宅（新港団地）

## 三常任委員会による町内行政視察 10月24日

合併により地域（行政区画面積）が広くなったため、議員が新町の状況を知るため、各地区8ヶ所を担当する課長より施設の状況・概況・工事の進捗状況等、現地で説明を受けた。

【歌登地区】

- ・中央、本幌別線道路路策
- （改良）工事
- ・議場中継システム
- ・青年の山
- ・本庫鉾山の現況

【枝幸地区】

- ・問牧地区町有林（北の魚つきの森）

【新港団地（公営住宅・道路・宅地分譲）】

- ・大規模草地施設の現況
- ・下幌別リサイクルセンター

### 総務 常任委員会

11月29日

▼主な内容  
津波警報発令の避難勧告に伴う対応について  
担当する課長より津波警



限りある資源を大切にしましょう。(新しく導入されたその他プラ用圧縮梱包機)

報発令時点から災害対策本部解散までの状況説明を受け、災害に対する対応・反省及び今後の課題を踏まえ、早期に防災計画等を策定する旨の報告を受けた。  
・避難所及び避難人員  
町関連施設のみ 避難所

22ヶ所 ほか5ヶ所  
避難人員 1、576名

### 社会文教 常任委員会

11月30日

▼主な内容  
学校いじめ問題の実態について  
マスコミ等でいじめや自殺などが報道されているなか、枝幸町においては、いじめと認められる学校が小学校1校、中学校2校あり、学校・関係機関と連携し対策と未然防止に取り組んでいる旨の報告を受けた。

枝幸小学校大規模改修事業計画について  
校舎は、29年経過し、これまで大規模な改修は行なっていないため支障が生じていることから、今年実施計画、19年から21年の3ヶ年事業として実施する。工事内容は、校舎の耐震補強水道・暖房設備の集中管理電気設備、壁・床の内部工事、空き教室の有効利用で学童保育と学校開放としてスポーツ利用ができるよう改修を行なう。改修にかか

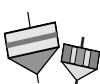
る補助は文部科学省の「安全・安心な学校づくり交付金事業」で3分の1の交付金が受けられる等、担当者から経過概要及び内容等の説明を受けた。

### 産業建設 常任委員会

12月1日

▼主な内容  
町道の除雪体制について  
枝幸地区は、除雪業務の直営方式を平成5年度から段階的に委託方式に切り替え、対象工区は5工区で委託期間は9月中旬から翌年3月末日まで。  
歌登地区は、市街地町道(一部除く)除雪業務は直営方式で、市街地・本幌別

・志美宇丹の各公共施設駐車場は委託方式で行っている。  
委託期間は10月中旬から翌年3月末日。  
その他、両地区の町道等除雪路線現況、除雪情報の連絡体制等の説明を担当課より受けた。



生活道路の確保は万全に

### 平成17年度決算審査特別委員会

18年第2回定例会で付託された、17年度の決算は、旧枝幸町・旧歌登町(17年4月1日)18年3月19日)の一般会計・14特別会計・3企業会計、新枝幸町(18年3月20日)3月31日)の一般会計・8特別会計・2企業会計の29案について、  
会期を13~15日の3日間とし、開催された。  
始めに、町長から決算の概要、監査委員から決算審査の経緯等の説明を受け、決算内容の審査・質疑に入り原案のとおり認定し、会期を1日残り閉会した。

# 議会のうづみき

(抜粋掲載)

## 平成18年

●5月—

9 11 第1回枝幸町議会臨時会

19 宗谷管内町村議員研修会 (猿払村)

29 宗谷町村議定会定期総会 (稚内市)

●6月—

8 北海道町村議会議長会定期総会 (札幌市)

13 産業建設常任委員会

14 社会文教常任委員会

15 総務常任委員会

19 議会運営委員会

●7月—

21 13 広報編集特別委員会  
21 13 広報編集特別委員会  
21 13 広報編集特別委員会

●8月—

1 議会広報1号発行

2 北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連絡会18年度総会

自治体バランスシート公開学習会 (札幌市)

4 第2回枝幸町議会臨時会 (中頓別町)

11 「新しい支庁の姿(骨格案)」に関する地域意見交換会及び市町村合併説明会(稚内市)

23 全道議会広報研修会 (札幌市)

●9月—

7 議員協議会

11 総務常任委員会

12 産業建設常任委員会

13 社会文教常任委員会

19 議会運営委員会

21 13 広報編集特別委員会  
21 22 第2回枝幸町議会臨時会

●11月—

1 議会広報2号発行

13 第3回枝幸町議会臨時会

13 14 決算審査特別委員会

22 第50回町村議会議長全国大会 (東京都)

28 議会運営委員会

29 総務常任委員会

30 社会文教常任委員会

●12月—

1 産業建設常任委員会

8 議会運営委員会

11 広報編集特別委員会

13 11 議員協議会  
13 14 第3回枝幸町議会臨時会

●1月—

5 新年交礼会

11 18 広報編集特別委員会  
11 18 宗谷町村議長の定期総会・意見交換会

●10月—

13 広報編集特別委員会

18 広報編集特別委員会

24 三常任委員会町内行政視察

# ～議会を傍聴してみませんか～

議会はいつでも、どなたでも傍聴できます。  
3月定例会は3月初旬の予定です。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。TEL62-3053 (直通)

## 編集後記

枝幸町始まって以来の大惨事が発生か……

突然の「津波警報」と「避難勧告」……

11月15日の夜8時過ぎに起きたこの出来事には、町民はもとより、関係者も何もなかった事に安堵したのではなからうか。

しかし、この貴重な経験をしたことによって、「普段からの備え」が大事であると感じた町民も多

くいたのではないか……

携帯電話がつかないため家族・親族に連絡が取れない

避難場所が何処だか判らない

老人や障害者などの弱者に対する声かけや援助をしてほしい

避難場所の標高を示した地図などを周知してほしい

ほんの一例ではあるが

多くの町民からの意見や要望が寄せられたことにともない町は課題を集約してマニュアルを作成して町民に周知する旨検討しています。

これができることによつてひと安心……

しかし、何よりも大事なのは町民皆さんの協力と結束が必要であることは言つてもよい……

「地震(津波)・雷・火事・親父」……

「こんな事には負けな

いぞ」と言つてはみたものの一人が二人、二人が四人、四人が八人……となれば心強くなる筈だ。

町が指定した避難場所ほか高台など(27ヶ所)に1,576名が避難した旨の報告(災害対策本部調)がありました。

S・T記